

よいや～の風にのって



——令和7年9月8日(月)No.12——校長 東原 宏章——

「ひびく、ひびかせる」

9月1日(月)の始業式では、「あいさつをしよう。自分から。仲間に、先生方に、地域の方に。」という話をしました。

始業式から5日が経った9月5日にこの「学校だよりNo.12」を書いているのですが、この5日間であいさつをする児童の数が目に見えて増えました。自分からあいさつをする児童の数も増えています。校内の廊下で、登校中の歩道で。「あいさつがよくなっている」ことを実感しています。

高城台小学校の児童は素直な子ども達です。打てば「ひびく」子ども達だと常々思ってきましたが、間違いではありませんでした。

この5日間、各学年で担任の先生が、「あいさつの大切さ」や「なぜ、あいさつをするのか」を子ども達に説明しています。「ひびかせる」ことができる素晴らしい教師集団とそれに応える子ども達。頼もしい限りです。

以下は、始業式での校長講話です。

2学期の初めに話すことは、周りの人や仲間を大切にしようということ。そのためにあいさつをしようということ、この2つを話します。

まずは、1学期のあなた、あなたの学級を振り返ってみてください。

あなたは、学級の仲間を大切にしましたか。

もし、あなたの学級に大切にされていない人が一人でもいたとあなたが思うのならば、2学期は、すべての人が大切にされる学級を、学級の仲間とともに作ってください。

もちろん、学級の仲間だけでなく、家族や、地域の方々も、そして、先生方も大切にしなければなりませんね。あなたを支えてくださっている人たちですか

ら。

では、学級の仲間や周りの人たちを大切にするにはどうしたらいいでしょうか。その方法の一つがあいさつをするということです。

なぜ、あいさつをするのかと問われれば、理由はいくつかあります。あいさつをする理由の一つとして、「あなたのことを大切にしているよ」と伝えるためだと言われています。

おはようやこんにちは、さようならのあいさつをするということは、毎日の学習を助け合いながら頑張る学級の仲間に、あなたを大切にしているよというメッセージを送ることになるのです。挨拶をするということはあなたを大切にすることから、私のことも大切にしてくださいというメッセージを送ることにもなるのです。

もう一つ、あいさつをする理由として、いつも支えてくれてありがとうという感謝の気持ちを伝えるためだと言われています。

ですから、あなたを支えてくれている家族や地域の方々、そして先生方に、おはようやこんにちは、さようならのあいさつをするのです。

夏休みの間に高城台小の先生方とあいさつをするということについて話し合いました。全校で取り組んでいくためにはどうしたらよいか考えました。

キーワードは「自分から先に」ということです。

まずは、先生方や地域の方に、自分から先に挨拶をしていきましょう。どうしても声が出ないときは、会釈でも構いません。よくないのは、黙って素通りすることです。これだけはやめてほしい。校長先生と出会ったときも、あなたから先にあいさつをするのです。できますか。

407人の仲間とすべての先生たちで取り組んでいきます。期待しています。